



第3回上田八木・金融政策サーベイ(2016年4月)の結果について

～4月の金融緩和予想は47%(前回10%)と大幅に増加

発表日:2016年4月26日(火)

上田八木証券株式会社

【調査の概要】

調査方法	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(205先)。
調査方法	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し。
調査方法	2016年4月21日～25日の3日間、電話等によるヒアリングにより実施。
回答率	95.6 % (回答者数196 先<Q1における回答者数>)

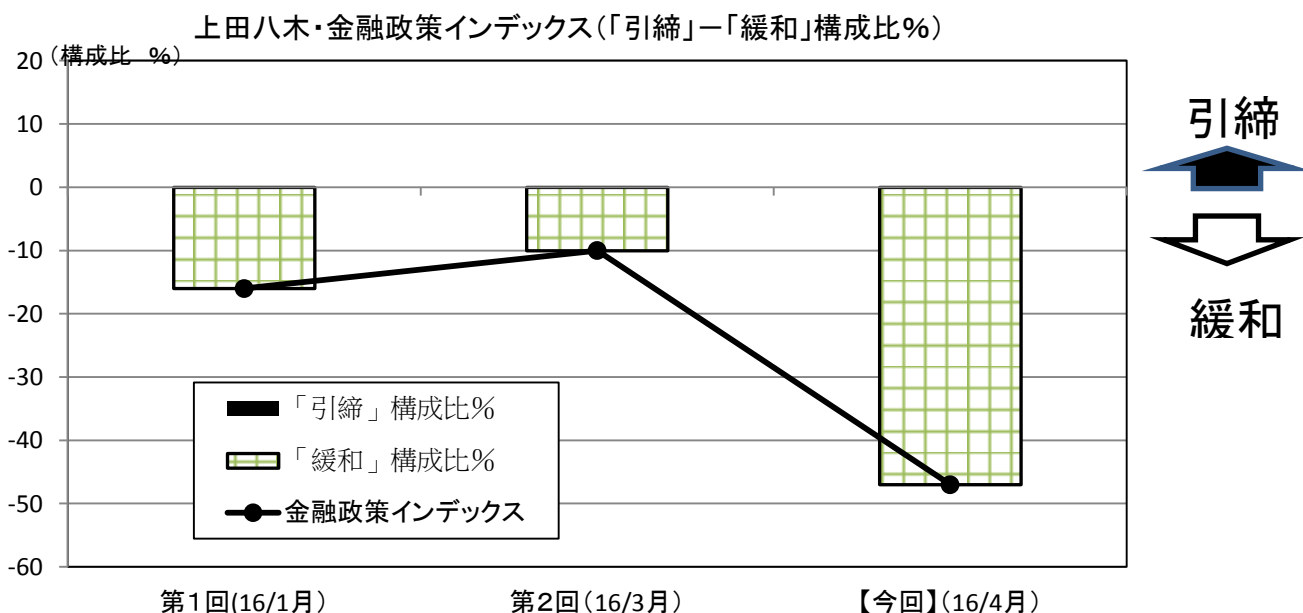
【調査結果】

(Q1)日本銀行の次回の金融政策決定会合(4月27～28日)における決定について

回答者全体の約半分の47%が「緩和」とみている。「不変」とみる先は53%だった。「引締」を予想する先はなかった。

上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、▲47 と、前回対比37%ポイントの大幅な低下。

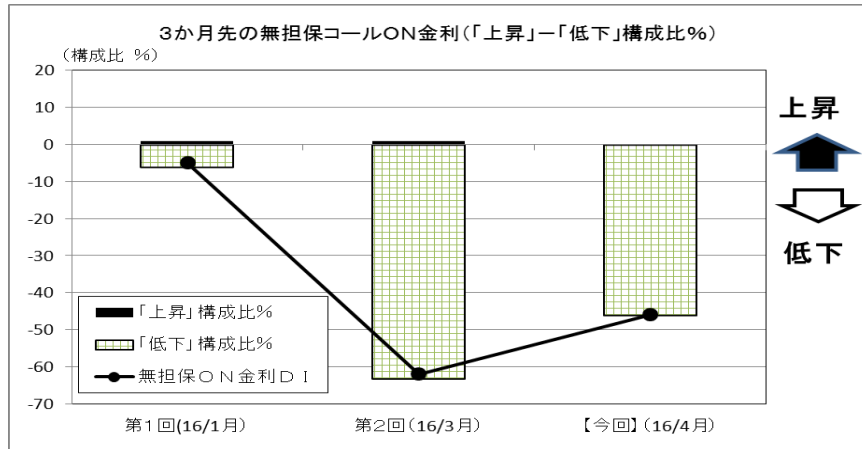
前回(3月調査)との比較では、「不変」とみる先が大きく減少、「緩和」が大幅に増加した。



(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の46%が「低下」を予想。「不変」の先は54%、「上昇」とみている先はなかった。

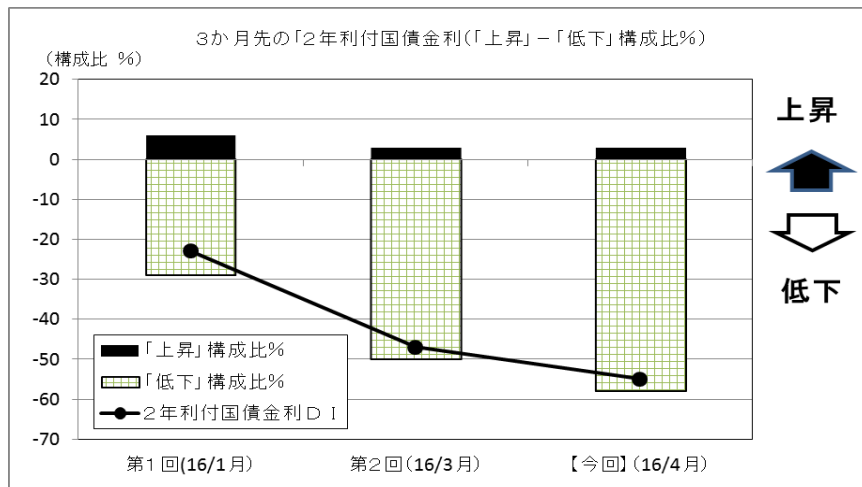
前回(3月調査)との比較では、「低下」とみる先は減少(前回63%→今回46%)。「不変」とみる先が増加(前回36%→今回54%)。



(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の58%が「低下」を予想。39%が「不変」とみている。「上昇」を予想した先は3%であった。

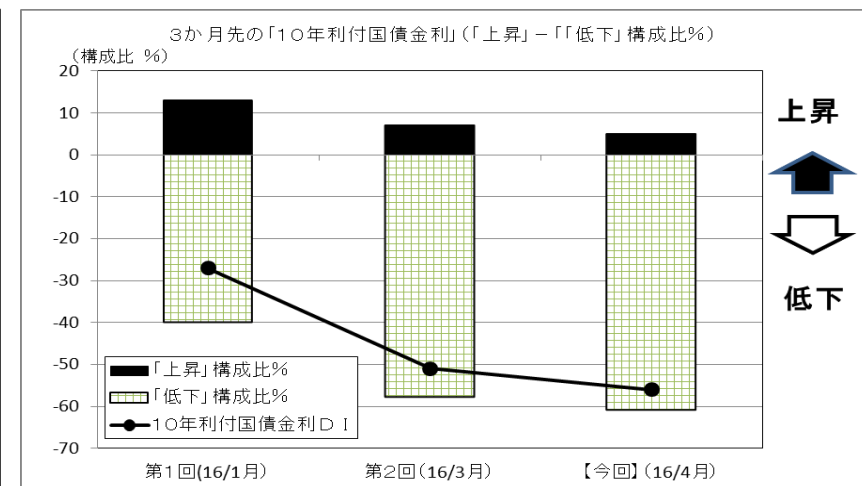
前回(3月調査)との比較では、「低下」とみる先が増加(前回50%→今回58%)。「不変」とみる先が減少(前回47%→今回39%)。「上昇」とみる先は不変(3%)。



(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の61%が「低下」を予想。34%が「不変」とみている。なお、「上昇」を予想した先は5%であった。

前回(3月調査)との比較では、「低下」とみる先がやや増加(前回58%→今回61%)。「不変」とみる先はやや減少(前回35%→今回34%)。「上昇」とみる先はやや減少(前回7%→今回5%)。



【本調査に関する照会先】

企画部 島本、酒井 (電話 03-3272-0293)